

NEWS LETTER

VOL. 6
DEC 2018

看護職人材のためのグローバルヘルス・キャリア入門セミナー

2018年9月20日(木)に、聖路加国際大学及び兵庫県立大学をWeb会議システムでつないで、それぞれ66名、27名の参加者を得て開催しました。これからグローバルヘルスのキャリアを考える若い看護関係者を対象としたセミナーで、選考試験における競争力強化の一手手前の、看護職としての活躍の機会やライフワークバランスに重きをおいたユニークなものとなりました。まず「看護職がグローバルな舞台で果たす貢献」と題して元国際看護師協会会長 南裕子先生からご講演頂き、次いで、現在世界で活躍されている4名の日本人女性(敬称略)一木下倫子(ユニセフ・ブルキナファソ事務所副代表、助産師)、白川優子(国境なき医師団(MSF)、看護師)、小笠原佑子(日本赤十字社和歌山医療センター/国際赤十字赤新月社ヨルダン事務所、看護師)、矢島綾(世界保健機関(WHO)西太平洋地域事務局、テクニカルオフィサー)からそれぞれのご経験についてお話を頂きました。その後、締めとして当センターの中谷比呂樹センター長から「看護職におけるグローバルキャリアの可能性」と題して、国際リクルートの現状をお話しました。



第77回日本公衆衛生学会総会 (福島県郡山市)



標記総会が2018年10月24日(水)から26日(金)まで開催され、当センターは3つの活動を行いました。

(1) 衛生学公衆衛生学教育協議会

全国医育機関における衛生学公衆衛生学等の責任者が集まる会議が10月23日の学会付随行事として開催された機会に、中谷センター長から、当センターで開発中の人材データベースへの協力を要請しました。

(2) 教育講演 世界に羽ばたく国際政策人材の育て方

中谷センター長が、10月25日(木)に講演しました。日本は世界に先がけて超少子高齢化に伴う大きな変革を成し遂げつつあり、日本の公衆衛生の経験は世界でも役立つとしたうえで、その夢をかなえるために、公募と選考に打ち勝つ技法に言及しました。

(3) 自由集会 国際保健政策人材を増強する方策とは

当センターのアドバイザーである山下俊一福島県立医科大学副学長を座長として、厚生労働省研究班(曾根班、山下班)メンバーおよび当センター地引人材情報解析官よりなる自由集会を10月25日(木)に開催しました。国際保健政策人材増強の推進のために二つの研究の成果がどのように効果的にグローバルヘルス人材戦略センターの活動に活かされるか、会場からのご意見やご提案も頂きながら、議論を深めました。

■ 今後のイベントのお知らせ

Save the Dates

第3回国際臨床医学会学術集会

グローバルヘルス人材戦略センター主催

オープン・フォーラム「世界を舞台に保健の仕事しよう！」

日時：2018年12月8日(土) 16:40 - 18:10

会場：東京大学本郷キャンパス 伊藤謝恩ホール

WHO、国立国際医療研究センター、グローバルヘルス人材戦略センターより報告をし、日本の医療現場の経験をどのように国際的な現場で活かせるか考えます。ご参加は無料ですので、直接会場にお越し下さい。

<https://www.utokyo.ac.jp/adm/iirc/ja/access.html>

グローバルヘルス人材戦略センター主催

「国連/国際機関へ行こうー若き日本人専門職の方へのグローバルヘルス・キャリア・ディベロップメント・ワークショップ」

開催日：2018年12月9日(日)

国立国際医療研究センター、北海道大学、名古屋大学、大阪大学を結び、ワークショップを開催します。2017年12月10日、センターの開所記念として開催した第1回ワークショップに続き2回目の開催となるもので、国際機関に合格するための履歴書の書き方、面接(Competency-based Interview)の受け方、国際機関紹介、個別面談(東京会場のみ)等を実施します。ご参加を希望される方は下のリンクより12月5日までに申込み下さい。

<https://hrc-gh.ncgm.go.jp/event>